

2024.05.12. 神の御言葉を守る Mac 牧師

主よ、本当にありがとうございます。私たちは今朝、あなたの御前で、賛美と礼拝し、時に、私たちのすべてを捧げ、ここに立ち、主を賛美します。でも、あなたは私たちに良くしてください。主よ、礼拝をありがとうございます。私たちはあなたを礼拝するために、あなたがお造りになられたのです。今朝、あなたの御言葉にふれるとき、私たちはあなたの御名を賛美します。すべての感謝と栄光を捧げます。今朝、あなたがいかに関わりの人生に語りかけてくださっているかへ。ですから主よ、ただそうしていただけませんか？ マック牧師に、主よ、彼に力を与えてください。彼に勇気とここに立つ大胆さを与え続けてください。あなたが彼を召されたとおりになさってください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。

主を讃えます。どうぞお座りください。では、おはようございます。まずはそこから始めるべきですね。JD ファラグ牧師に代わって、ここカルバリー・カネオへようこそ。ここにいる皆さん、今日来てくださった方々、私たちはあなたに感謝し、あなたがここで受ける交わりと愛によって祝福されることを祈ります。そして、オンラインでご参加の皆さんも、大歓迎です。次の祈り会についてぜひ、皆さんにお知らせしたいと思います。6月4日午後7時から、ここ礼拝堂で行います。ですから可能なら、ぜひ来て、私たちと一緒に心を合わせて祈りましょう。私たちは心をつにして祈らなくてはならないことがたくさんあり、生ける神の家ほど、そうするのに素晴らしい場所はありません。ですから、来れる人はぜひ来て、ご参加ください。

さて、今朝の教えに入る前に、すべてのお母さん方、そして母親を志している人たちに、この場で申し上げたいと思います。まず第一に、母親でなくても、母親が経験することを理解することはできます。事実、私たちの多くは、これら母親たちにすべてを押し付けます。— (会衆：笑) — 嘘いってます？ 多くの場合、母親であることは、感謝されない召しです。そして、1年のうちのたった1日では、母親がよく経験することを正しく評価することはできません。彼女たちが直面することにもかかわらず、彼女らは、理屈を超えて、思いやり愛することができます。私たちは皆、母親業が、決して楽にはなっていないのを認識すべきです。事実、もっと悪くなっています。母親たちは子供を守るために、社会のほとんどすべての要素と戦わなければなりません。そのため、祖母や義理の母、叔母や姉の役割も、母親と同じように重要です。女性には、男性には決して真似のできない本能があります。社会がいかに関の一線を曖昧にしようとも。そうはなりません。それが事実です。それが神のご設計であられるからです。先達の母親たちから学び、この先母親になる人たちにとって、母性はしばしばとても早い時期に始まります。母親たちは宝であり、母親たちが家庭を作り、そして男は女なしには成り立たないのです。男は家長かもしれませんが、家庭を築くのは女です。だから今日も、そしてこう言いましょう。毎日、私たちは、一人ひとりそしてすべての母親に幸せな母の日を願っています。そして拍手を送る前に、母親たちのために祈りましょう。天の父よ、私たちの母たちに感謝します。彼女たちは贈り物であり、私たちには本当に必要です。特に今、私たちが生きている時代において。ですから、すべての母親と、母親になりたいと願う人々に、特別な祝福を送ってください。その呼びかけに応え、子どもたちを主の道において育て上げる勇気がある彼女たちを。さまざまな面で、彼女たちにしかできないことです。だから主よ、彼女らを豊かに祝福し、彼女たちを強めてください。この日、そしてこの後すべての日に、彼女たちが高められますように。救世主イエス、イエシュアの方ある御名において祈ります。アーメン。

彼女たちを褒め上げましょう。日曜日には2つの礼拝があり、通常、第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」、第二礼拝は「説教」に専念します。今日の第一礼拝では、皆さんを、「ルカの福音書 11 章」27 節、28 節の 2 節へお招きします。今朝の箇所を聖句朗読と、それに続く祈りのために、可能な方はご起立ください。繰り返します。「ルカの福音書 11 章」、27 節から、神の御言葉をお読みします。

— ルカ 11 : 27 —

イエスがこれらのことを話しておられると、群衆の中から、ある女が声をあげてイエスに言った。「あなたが宿した胎、あなたが吸った乳房は幸いです。」

— ルカ 11 : 28 —

しかし、イエスは言われた。「幸いですのは、むしろ神のことばを聞いてそれを守る人たちです。」

一緒に祈りましょう。今朝の学びへ神の祝福をお願いしましょう。

天の御父よ、主よ、あらためて感謝します。御言葉を学ぶために、あなたが本当に私たちとここで出会って下さるようお願いいたします。聖霊の御力によって、あなたが私たちに教え、私たちの心に留めておくべき教訓を示してくださることを必要としています。私たちがあなたの御言葉を守るように。どうかあなたの御力と強さで、私たちの前を行き、私たちの心と思いを落ち着かせ、あなたの真理の御言葉を受け取れるよう、私たちの耳と心を開いてくださいますか？ 私たちはあなたを愛します。あなたがなさろうとしておられることに感謝します。イエス・キリストの力強い御名によって、祈ります。アーメン。

ありがとうございます。どうぞご着席ください。今朝の学びのタイトルは、『神の御言葉を守る』です。

私たちは、今の2つの節を使い、それを解説し、神の御言葉を守ることにに関して、より局所的なアプローチを取ります。私たちのほとんどは、神の御言葉を守るについて話します。そして、それが何を意味し、どのように見えるかを理解しているとさえ言えます。でも、このことに関して、私たちは多くのことを想定しすぎていると思います。神の御言葉を守る方法は、ひとつしかないからです。そしてそれはまず、聖霊の御力で神の御言葉を知ることによってです。神の御言葉を知らなければ、神の御言葉を守る可能性はほとんどありません。そう思いませんか？ またこれは永遠に学び続けるプロセスで、そこから完全に卒業することはありません。ですから、神の御言葉を学ぶと同時に、神の御言葉を守り、そして、神の御言葉をより多く守るために、神の御言葉を学び続けるのです。この仕組みが分かりますか？ 結論は、御言葉を守れば守るほど、私たちは成長する。そうすればするほど、私たちは祝福される。私たち全員、ここまで大丈夫ですか？ そこで、主のお許しを得て今読んだ聖句を、見ていき、聖句に基づいた文脈におき、そして、神の御言葉を守ることが何よりも優先されなければならない理由を、御言葉から示します。何よりも。それでは、本文の27節と28節、もう一度、神の御言葉をお読みします。その始まり方、まるでドラマ映画のようです。新ジェイムズ王訳「こういうことが起こった。」ドド〜ン！！ そう、それが起こりました。

ー ルカ 11 : 27ー

イエスがこれらのことを話しておられると、群衆の中から、ある女が声をあげてイエスに言った。「あなたが宿した胎、あなたが吸った乳房は幸いです。」

ー ルカ 11 : 28ー

しかし、イエスは言われた。「幸いなのは、むしろ神のことばを聞いてそれを守る人たちです。」

さて、まず第一に、私たちはこの女性を賞賛すべきです。そして、それが分かるためにはまず、イエスがどのようなことについて話しておられたのかを知る必要があります。聖典をちょっと戻って見ると、イエスは、律法学者やパリサイ人が耐えられないようなことを語っておられました。皆さん聞いてます？ 彼らは、イエスが好きではなかったと言っているいいです。が、この女性はある意味、真理に拍手を送っていることになります。つまり、少なくとも彼女は真理を認識し、同意しています。そして、このことについて少し考えてみる必要があります。これらの宗教指導者たちは、宗教で人々を抑圧していました。そしてイエスが来られ、真理をもって彼らを公然と辱められます。で、彼女は、叫びます。「あなたを宿した胎、あなたが吸った乳房は幸いです。」事実上、彼女は「あなたの母親に祝福を」と言ったのです。そう、私の言っていることが理解できるでしょ？ 彼女がしたことは、間違っていたという見方もあります。しかし、イエスはそれに対してこうは答えておられません。イエスは「いや、いや、女よ、座りなさい」とは言われなかった。イエスはそうは仰らなかつた。イエスがされたのは、彼女の注意をそらすことでした。これが分かりますか？ もし彼女が以前、イエスの話を聞くのに何の問題もなかったとしたら、それなら今、イエスの話を聞くことに問題はなかったはずです。この女性がイエスの母、マリアを祝福していることに関して言えば、つまり、マリア自身が、これがまさに起こると言い、その直後、彼女は言われた通り救世主を妊娠していることが分かった。覚えていますか？ マリアの歌も、「ルカの福音書1章48節」にあります。神の御言葉を読みます。

ー ルカ 1 : 48ー

(神は) この卑しいはしのために目を留めてくださったからです。ご覧ください。今から後、どの時代の

人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。

繰り返しますが、マリアに対して祝福を表したこの女性は、必ずしも間違っていたわけではありません。彼女や民にとって理解すべきはるかに重要なメッセージがありました。ついてきていますか？ 実際、彼女はより大きなメッセージのための注目集め役として用いられたかもしれません。祈り願いつつ、彼女はメッセージを受け取りました。そして、より大きなメッセージは、昔も今も、神の御言葉を聞くことがまず一つですが、しかし、祝福は、『神の御言葉を守ること』で、来ます。そして、彼女の行動とイエスの対応から、私たちが学べるものがいくつかあります。私たちはこの両者の立場に立つ必要があります。祈り願いつつ、私たちはそれが分かるでしょう。というのも、ここにあるのはある種、無邪気な問題だからです。そんな風に見えますか？ しかし、それでも対処する必要があります。そして、まず注目しましょう。イエスは決して迷うことなく、召されたことに集中された。私がこう呼ぶ、“この愛らしい、故意ではない邪魔” にもかかわらず。これは、全員ではないにせよ、ほとんどの人が経験したことで、またいずれどちらかの側に身を置くことになるでしょう。時間の問題なだけです。私たちがこれから見るものが、このすべてに光を当てることを祈ります。聞いてください。理解してほしいのは、私たちが扱っているのは、おもに神の御言葉に意図的に関わることです。これがその背景です。これは、私たちが気を使いすぎたり、誰かの言うことすべてに過度に批判的になったりするためではありません。しかし、神の御言葉に関しては、私たちはそういう雑念を意識し、敏感でなければなりません。家族の皆さん、今のところ順調ですね。とても早口だと言われたので、確かめているんですよ。東海岸の呪いです。なので、ゆっくり話す様にしています。では、私たち一人一人が神の御言葉を守ることから遠ざけることができる、意図しない邪魔が何を及ぼすかを理解する必要があります。どのような意図であれ、神のことに集中力を失うと、ほとんど神の御言葉を守ることになんか集中できなくなってしまいます。ここで気をつけたいのは、その女性がイエスに叫び、言ったことの故にです。彼女の意図は尊いものでした。しかし、そこにとどまっていたのでは、最も重要な側面が見逃されてしまいます。このことについて、もう少し時間をかけたいと思います。でも、私たちがこの領域に陥る時、私たちの発言が神から注意を逸らしてしまう時、私たちは見当がつけられます。皆さん、聞いてます？ このような状況は非常にデリケートで、私たちが本文で見たのと同様、本質的には短いものです。その時の状況次第ですけれど。しかし、神の御言葉が語られるとき、最終決定権がえられるのは神であり、私たちではありません。もし私たちがこのような注意散漫になった者の一人で、神の御言葉で愛のうちに正されるのなら、私たちはそれを受け入れ、感謝しなければなりません。繰り返しますが、どんなに善意であっても、私たちは皆、自ら神の事柄に集中しない時、邪魔する者となります。また、このような性質に気を取られていると、間違っただけの優先順位をつけ始めてしまい、これは、そもそも集中力を失ったことによる副産物です。この女性の場面に戻るなら、彼女は御言葉を聞き、御言葉に耳を傾けているように見えたことを覚えておきましょう。彼女は御言葉ご自身から、喜んでその御言葉を受け取ったようです。でも、主をも祝福する代わりに、彼女の祝福は、神を祝福することなく止まってしまっているように思えます。これが分かりますか？ ちなみに、その母マリアが、イエスを救世主と呼びました。私たちは皆、このような状況に陥る可能性があり得ます。私たちがよくやります。なぜなら、私たちは霊的なことに関して多くの人々を祝福し、彼らや私たちに、力を与えてくださったのが神であることを忘れてしまいます。私たちは牧師や指導者などのために神を賛美し、神を祝福すべきです。神にご栄光があります。優先順位を見落としたり、付け替えたりすることはできません。神の御名のもとに肉が行ったことが故。私たちは皆、神の御言葉を守る責任があります。つまり、神を第一に考えなければならないのです。この最後のポイントについては、さっき述べたとおり、今から少し時間をかけます。それは大きなメッセージを見逃す。このような故意がない邪魔は、私たちが軌道から外すためではないかもしれません。しかし、簡単にそうなり得ます。私たちを脱線させるために、それらがどう私たちの邪魔になるのかを知りたければ、こう言ってみましょう。イエスは、「神の御言葉を守りなさい」と仰ることで、より大きな意味に触れなかった。もしイエスが何も仰らなかつたら、そうすれば、焦点は簡単にマリアに移ったでしょう。これが分かりますか？ 皆さん、ついてきていますか？ クレイジーなのは、イエスの助けがなければ、このようなことが起こってしまうのです。ローマ・カトリックを考えてみてください。彼らの焦点はイエスではなく、マリアに当てられています。だとすれば、神の御言葉を扱うとき、私たちはこのことをどれほど深刻に受け止めるべきなのか？ 曖昧さをすべて取り除くような方法で対処されていなければ、より大きなメッセージを見逃し、さらに悪い結果を招くからです。これは私たちが思っている以上によくあることで、正面から対処する必要があります。では、最後まで聞いてください。これが非常に重要な理由は、行われている善意の家庭聖書研究や、その他のグループ学習で、人々は、これらの気付かれな

邪魔に素早く対処し、神の御言葉を守ることができる、経験豊かで地に足のついた神の民に導かれています。皆さん聞いていますか？ このようなグループがあって、一見無害に見える気の散らしに対処できなければ、私たちはしばしば責任者になります。そして、その被害対策は果てしなく続くことにもなりかねません。それらは最初から対処しなければなりません。彼らが教会に忍び込む頃には、指導者である私たちは、そのような寛大な対応をする機会を失っているかもしれないから。そのことが、皆さんには最終的な結果しか見えないので、より多くの問題を生みます。ひとつお聞きします。あなたの愛する人に銃を突きつけた人に、あなたはどうか対処しますか？「やめてください」と言いますか？ それとも始末しますか？ 要点がわかりますか？ どう？ わかることを願います。というのも、それほどひどくなり、彼らがこの神の教会のドアをくぐるなら、彼らを始末することになる。そして、それは争いを生みます。あなたはその裏の事情を知らないからです。そしてその理由は、多くの場合、あなた方にあります。だから、神の御言葉にそって、愛をもって彼らに対処してください。私たちがどう感じるかではなく、神の御言葉がどう語るのかによって。私たちはその一節をよく知っていますが、まず読んでみましょう。少なくとも2つを。「第二テモテへの手紙3章」16節から17節に記されています。神の御言葉は語られます。

—II テモテ 3 : 16—

聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと（見てください→）矯正と義の訓練のために有益です。戻りましょう。矯正。あなたは人を正すことができます。あなたは気づいていましたか？ 彼らが正面玄関で戒められる前に、あなたは神から矯正する許しを得ています。

—II テモテ 3 : 17—

神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

これが私たちがすべきこと。そして、これは神の御言葉を守ることのある一面に過ぎません。そして、16節に記された最初の2つの言葉に注目してください。聖典すべて（英訳：新ジェイムズ王訳）。少し時間をさしあげます。「聖書はすべて。」適切な文脈の中で保たれ、霊的なものと霊的なものを比べ、決して矛盾せず、神の御言葉の思慮全部を賢く見極める。聞いてください。ご用心を。もしあなたが神の御言葉のある一面にこだわるようになったら。別の言い方をさせてもらいますよ。ご用心を。神の御言葉のある一面にこだわってしまうなら。（“こだわる”を、金切り声で）そしてこのことは、キリストの新しい信者にとつ特に大切です。考えてみてください。あの女性はとても感激していましたね？ 新しい信者として、あなたは今まで聞いたことのないような真理を聞く。そして、あなたは興奮し、それをもっと求める。自分自身のために聖書を読み始める。それは良いことです。そして、他の教師たちの話を聞き始める。それは良いことかもね。そして、聖書の一節を聞いたり、聖書の一節を読んだりして、冒頭のようなことが起こる。私たちはこの言葉や一節を見て、それにこだわる。執着。こんな風に、執着。目が離せません。誰も知らないことを見つけました。正直に言います。自分がそうでした。ね？ 私は、こんな風に、「ああ、誰もこのことを知らないんだ」、ね？ 頼む、頼むよ。なんてこった、やられたかな？ 当然のことです。そしてそのことを神に感謝します。ですから、こういう状況で、私たちは何をすべきか？ 私たちは何をすべきか？ そう、神の御言葉は、聖書を通して私たちに何をすべきかを教えておられます。「箴言19章」20節と21節にその一例があります。御言葉は仰られます。

—箴言 19 : 20—

忠告を聞き、訓戒を受け入れよ。そうすれば、あなたは後で知恵を得る。

—箴言 19 : 21—

人の心には多くの思いがある。しかし、主の計画こそが実現する。

私たちは助言を求めるべきです。話を戻します。私たちは賢明な助言を求めるべきです。それが私たちのすべきことです。聖書には、多くの助言者によって安全があると書かれています。（箴言 11 : 14 参照）そして神の御言葉は真実です。でも、神の御言葉が語られるように賢明な助言を求める代わりに、私達はインターネットやユーチューブを探し求め、より多くの動画を見る。そこが私たちのいる所です。私たちが何に執着していようと、間違いなくインターネットで教理として見つけれられます。グミ宗教を見つけたいです

か？ インターネットをご覧ください。それはあなたのためにあります。しかし、私たちは賢明な助言を求めるべきです。なぜなら、最終的にこの賢明な助言なくして、神の御言葉の思慮全体を守っていないなら、それらはすべて悪魔の教理です。カルトは多くの場合、神の御言葉のある一面に基づいて築かれていることに気づいてください。エホバの証人はどうですか？「エホバ。それが唯一の名前だ。それが神の唯一の名前だ。そうだ！見つけた！」で、あなたは、いざ出発。カルト。カルトはまた、人々が私的な解釈をすることによっても生まれます。モルモン教はどうですか？ 聖典はそうではないと語っています。私たちは皆、賢明な助言がどこにあるかを知る時、主がそれを知っておられると知るべきです。しかし、私たちは愚か者たちの好意的な助言を選ぶ。私たちはみんな、そうしたことがあります。今でも時々そうしています。そう、考えてみると、親子という側面から、でしょ？ これから決断しなければならないことがあって、私は父母のもとには行かない。なぜか？ 彼らが何を言おうとしているのか、私はよく知っているから。これ、あれ、それを言われる。それはすべて私のやりたいことに反する。だから私は別の場所に行って、賢明な愚か者たちと話をします。すると私たちは同意できる。さあ、どうぞ。あなたはあのマスタングを買いたい。あなたの叔父は40年来のファイナンシャル・アドバイザー。ね？ あなたはこう、「叔父さんのところへは行かない。彼は私の収入を見たがる。私の負債比率とか、あれやこれやとか、その他もろもろとか。だめだね。」で、私が何をしますか？ 従兄弟に電話する。「ねえ、ちょっといい？」「今、10年生(高1)の数学の試験受けてるんだけど。」「分かった。またかけるよ。」それは神のサインに違いないぞ。神は私にマスタングを手に入れろと言われた。皆さん、分かります？ つまり、これは告発です。なぜなら、私たちは感覚を持ち、何が正しいかを知っているから。しかし、私たちはむしろ、間違っていることに同意してもらいたい。では、これが本当に祝福されると思いますか？ そのマスタングで走り出したら、最初は祝福されているように見えるかもしれませんが。でも、請求書が来ると……。乗ると嬉しくなるでしょう。最後は祝福されません。神の御言葉を守ることと一致していないからです。実際、私たちはこのことも知っておくべきです。これは罪深い振る舞いです。分かります？ そう、神の御言葉に語ってもらってください。「ヤコブの手紙4章17節」にあります。神の御言葉を読みます。

一ヤコブ 4 : 17一

こういうわけで、なすべき良いことを知っていながら行わないなら、それはその人には罪です。

私たちは決して神を欺くことはできません。私たちの注意はすべて主に知らしめられ、ですから私たちは皆、祈りの中ですべてを神に捧げるのがよいでしょう。神はすでに知っておられ、御言葉を守ることによって祝福がもたらされます。では、ここで、入りたい領域は、神の御言葉を守る能力を身につけるため、私たち全員が何をしなければならぬかを知ることです。あの女性の箇所、その一端を垣間見ることが出来ます。しかし、その全貌は、神に完全に注意を払うことでもたらされます。これは意図的な行為でなければなりません。これを邪魔するものは何もないはずですが。これは人生の最も基本的な教訓です。このことは、私たちの生活の様々な場面ではっきりしています。つまり、私たちは、注意を払うものを守り保つと思いませんか？ でしょ？ よく耳にする表現は、「教えられるのではなく、捉えること」前に聞いたことがあるでしょ？ じゃあ、スポーツの観点から言わせてもらって、野球。そう、一日中メジャーリーガーのように球の取り方を教えてもらえる。しかし、もしあなたがボールから目を離したら…。キャッチできません。そううまくはいきません。だから選手たちは(球に)注意を払わなければならない。その技術を意味あるものにするために。もし私たちが神の御前に、特に教会で、聞く耳を持ち、そして真理の御言葉を聞き、留意することを使命として出るのでなければ、私たちは神の御言葉を守り保っていない可能性が高いです。ならば、これはすべて形式にすぎず、実際、悲劇です。なぜなら、

「神の命令は重荷とはなりません。」(Iヨハネ 5 : 3)

そして、それらはすべて私たちのためです。多くの人が重荷だと思うのは、彼らは、神を知らないからです。それが理由です。とても興味深いと思いませんか？ 私たちは、神に私たちの祈りに注目してほしい。しかし、私たちはしばしば神の御言葉に注意を払わないことを選ぶ。ああ、私たちは神に、私たちが言うことを聞いてもらいたい。しかし、問題は私たちが神が仰ったことを聞いているのか？ 祝福は、神の御言葉を守ることによってもたらされます。神に注意を向けることに関して、「箴言4章」20節から22節に書かれています。神の御言葉は仰られます。

一箴言 4 : 20一

わが子よ、注意して私のことばを聞け。私の言うことに耳を傾けよ。

一箴言 4 : 21一

それらを見失うな。自分の心のただ中に保て。

一箴言 4 : 22一

それらは、見出す者にとっていのちとなり、全身の癒やしとなるからだ。

神の御言葉に、注意を払う。で、留意ください。神は、20節で、「耳を」と仰い、21節で、「目を」と仰います。神はその両方の創造主です。そして、その両方がある私たちは、両方によって学ぶべきです。主の御言葉を守ることを選んだ者たちへの祝福がここにあります。人生と健康。人生と健康。しかし、そのすべては、神の御言葉に注意を向けることから始まります。受動的に神の御言葉に耳を傾げるだけでは、神の御言葉を守るために必要な心の活性化は得られません。だから、私たちは積極的に耳を傾けなければなりません。質問は、「私たちはそうしているのか？」

その答えのひとつは、単純に自分の人生を見つめること。そして、主における自らの成長を測る。さて、これをするのが難しいときがあります。でも、他の人には見えます。しかし、忘れてはなりません。聖書は、自分自身を吟味するように教えています。自分自身を吟味する。これがその理由のひとつです。私が神の御言葉に積極的に耳を傾けているなら、主にあって成長していることになるからです。なぜなら、私は主の御言葉に耳を傾け、その御言葉を守り、保つからです。「ヘブル人への手紙」の著者は、私たちがそうしなかった場合にどうなるかを警告しています。「ヘブル人への手紙 2 章 1 節」、神の御言葉が記されています。

一ヘブル 2 : 1一

こういうわけで、私たちは聞いたことを、ますますしっかりと心に留め、押し流されないようにしなければなりません。

そして冒頭の箇所この女性はおそらく、イエスが示されたすべてを初めて聞いたのででしょう。しかし、私たちは何度イエスの御言葉を聞いたのでしょうか？ だから、私たちは聞いたことにもっと真剣に心を留めなければなりません。そうでなければ、私たちは押し流されていってしまうから。時に、私たちが押し流されてしまうのは、あらゆる教理の風や欺きの策略に翻弄され、あちこち連れ回され、流されるからです。神の御言葉が入っておらず、神の御言葉からでないと、他のガラクタが入り込み、押し流される。

「非常に興味深いな。興味深い、興味深い、興味深い.....」(エコーをかけて。)あなたが難破するまで続きます。なぜか？ 理由は、私たちが自分自身をしっかり固定し、神の御言葉を守り保つことができないから。神の御言葉を守るために必要なもう一つの重要な要素は、へりくだりの大胆さを持つことです。主の御前で謙遜がなければ、主から何も聞くことはありません。主の御前で真の謙遜とは、自分自身の無価値さを認識することです。そして、これは無価値を非難するものではありません。これは、自分が他の誰よりも優れているわけではないのを知り、あらゆる点で自我に終止符を打つこと。神がどこで私たちを用いておられても、私たちは皆、日々一秒一秒に、イエスが必要です。私にとってわからないのは、どうして、そしておそらく、皆さんのほとんどが、朝起きてただ、謙虚に顔を伏せる事が出来ないのか。私たちの心は、主の御前でこのように構えるべきです。特に主の御言葉を聞きに来るときは、座る前に自分自身を空っぽにせねばなりません。そして、その恵み深い御言葉で私たちを満たしていただく。神の御言葉は、私たちは主の御前にへりくだるべきだと教えています。そうすれば、主は私たちを引き上げてくださる。私たちが主の御目の前で自分を空っぽにすれば、主は私たちを満たしてくださるとも言えます。また、「詩篇 25 篇」8 節から 10 節に、次のように書かれています。神の御言葉は仰られます。

一詩篇 25 : 8一

主はいつくしみ深く正しくあられます。 それゆえ罪人に道をお教えになります。

一詩篇 25 : 9ー

主は貧しい者を正義に歩ませ 貧しい者にご自分の道をお教えになります。

一詩篇 25 : 10ー

主の道はみな恵みとまことです。

主の契約とさとしを守る者には、そのすべてがわかることを願います。私たちのまっすぐな（いつくしみ深い）神は、謙虚な罪びとたちにご自分の道を教えて下さる。それを考えてみてください。そもそも私たちが罪びとだと認識するためには、へりくだらなければならないからです。常に謙虚でいれば、私たちは教えやすくあれるのです。主の御前には、博識な者など誰もいません。私たちが教えられやすくなければ、神の御言葉を守ることが、最優先ではなくなるでしょう。なぜなら、それを聞き、心に留めることができなくなっているからです。その時点で、まるで私たちは学ぶ段階を越えて成長し、学ぶ者の目的地に到達したように思えるでしょう。私は知っています。ええ。すると、学んだ者たちの島では、首都がプライドとなる。それが結論です。それがすべての根源です。私たちは皆、それに対して心を守らなければなりません。なぜなら、私たちがへりくだることができたら、主の御前にへりくだることに付随するその祝福が見えますか？ それらを見てください。慈悲と真実の道。私たちは慈しみと真実の道へと導かれる。私たちの人生で、これが常にあってほしいと思わないわけがありません。私たちが御言葉を聞くだけでなく、御言葉を守るなら。繰り返しますが、私たちは謙虚でいる必要があります。すると主は私たちに教え、私たちを守ることがお出来になります。大胆なへりくだり。それが私たち皆に必要です。最後になりますが、大切なのは、私たちが神の御言葉を守るためには、誰もが神の事柄に対する心を持たなければなりません。群衆の中にいた女性のことを改めて思い返すと、彼女は興奮していました。彼女は教えられたことにとっても興奮していたようです。彼女の身振り手振りが想像できますよ。何かに興奮するとどうです？ そして、彼女がしたことをチェックすると？ 彼女は何かを言いたかった。真理が示されたときの興奮。心にあるものが、口から出るからです。（マタイ 15 : 18）

ある時点でそれは一貫して何らかの形で表現されます。その性質が。でも、主に対する心を持つことに関して、私たち全員が心に留めておかねばならないことがあります。ダジャレです。私たちは、いつも、神の御言葉に真実を語っていただく。また、「詩篇 86 篇」11 節と 12 節、神の御言葉が仰られます。

一詩篇 86 : 11ー

主よ あなたの道を私に教えてください。 私はあなたの真理のうちを歩みます。 私の心を一つにしてください。御名を恐れるように。

一詩篇 86 : 12ー

わが神 主よ 私は心を尽くしてあなたに感謝しとこしえまでも あなたの御名をあがめます。

「私の心を一つにしてください。御名を恐れるように。」これは、主との心の一致を物語っています。あなたの御名を恐れるため、あるいは、あなたがどういうお方であるかという理由だけで、あなたを敬い、あなたに従うために。あなたがどういうお方であるかという理由だけで。これこそ、私たちの祈りに含まれるべきものです。ダビデが理解していたように、主と心が一致することで、私たちの心は適切な場所に保たれ、神のことだけに関心を持つことができます。私たちの主への畏れは、神の御言葉が語る健全な畏れのあらゆる側面を含む畏れであるべきです。私たちは主を敬虔に畏れるべきで、そしてイエスとなると、完全な畏敬、ただ驚嘆するだけです。私たちは主に対して実践的畏敬を持つべきです。聖書に書いてある通りに、

「たましいもからだもゲヘナ（地獄）で滅ぼすことができる方を恐れなさい。」（マタイ 10 : 28）

私たちは皆、主を個人的に畏れ、神に対して罪を犯すことへの恐れを持つべきです。これは、すべての信者に内在する聖霊を悲しませ、鎮めてしまうことさえあります。主との心の一致があることで、神の事柄への心を持ち続けることができ、それが、神の御言葉を守る原動力となります。最後に、冒頭とは対照的な形で締めくくりたいと思います。皆さんにその理由が分かるのを祈ります。思い出してください。真理の言葉を

聞いた後、興奮して泣き叫んだ女性がいました。彼女の叫びは、

「あなたを宿した胎は幸いです。」(ルカ 11:27)

イエスの母を祝福しています。でしょ？ 彼女はこの真理を聞いて、ただ興奮していた。そして、彼女は叫び求めます。では、イエスが十字架上で死に行かれる時へ早送りしましょう。「ルカの福音書 23 章」、27 節から 29 節にこのことが書かれています。神の御言葉をお読みします。

ールカ 23:27ー

民衆や、イエスのことを嘆き悲しむ女たちが大きな一群をなして、イエスの後について行った。

ールカ 23:28ー

イエスは彼女たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣いてはいけません。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのために泣きなさい。

29 節をよく聞いてください。

ールカ 23:29ー

なぜなら人々が、『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来るのですから。

その時代に神の御言葉の権威が急速に近づいています。なぜか？ なぜなら、人々は神の御言葉を守ろうとしないばかりか、聞こうともしないから。そして、神の御言葉と御言葉の神がいなければ、希望はありません。そのような人たちは、生まれて来ないほうがいい。確かに、その日は近づいています。神は、嘘をつくことがお出来になりません。だから私たちは皆、神の御言葉を聞き、それを守ることが大切です。なぜなら、神は、御言葉を守られると信じた方がいいから。イエスを知らない皆さん、イエスの御言葉が語られました。主の御言葉を聞かなかったふりをする時間はありません。あなたの魂の救いのためにはイエスが必要です。主が守られる約束の言葉ですよ。イエス・キリストの福音によって、今日、イエスを選び、救われることをお勧めします。

イエス・キリストの福音とは、聖書に書いてある通り、キリストが私たちの罪のために死んでくださったこと、イエスは葬られ、3 日目によみがえられたこと。(I コリント 15:1-4 参照) 救われるのは、ABC くらいシンプルです。

A : まず、自分が神に背いた罪びとだと Acknowledge/認識する。

へりくだりです。救い主イエス・キリストが必要だと、Acknowledge/認識する。

ーローマ人への手紙 3 章 10 節ー

義人(正しい者)はいない。一人もいない。

ーローマ人への手紙 3 章 23 節ー

すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、

誰ひとりとして、自分の功績では、神の国に受け入れられることはありません。

ーローマ人への手紙 6 章 23 節ー

罪の報酬は死です。しかし神の賜物(贈り物)は私たちの主キリスト・イエスによる永遠のいのちです。

それが A です。B は、B : Believe/信じる。C は、C : Confess/ (口で) 告白する。両方、「ローマ人への手紙」10 章 9 節と 10 節、神の御言葉が語ります。

ーローマ人への手紙 10 章 9 節ー

「あなたの口でイエスは主と告白しあなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

ーローマ人への手紙10章10節ー

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

これは救われるための最もシンプルな方法です。そうすれば、主の御言葉の真理に安息することができます。神は私たちを愛しておられるので、私たちが和解することを望んでおられます。神の御言葉は具体的にこう語ります。「第二ペテロの手紙3章9節」です。

ーIIペテロ3:9ー

主は、ある人たちが遅れていると誤解しているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

これは、耳を傾け、守るべき非常にシンプルな御言葉です。私たちの上に主の永遠の祝福を受けるため、あなたがそれを守るよう祈ります。カポノ、上がってきてください。皆さん、ご起立ください。一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様、あなたは語られました。私たちが皆、あなたの御言葉に耳を傾け、それを守ることができるよう、心をひとつにしてここで祈ります。私たちの人生のあらゆる領域であなたの御言葉を守るように、私たちがあなたのために人生を生き抜く方法の、新しいアプローチを持てますように。あなたが私たちを連れ去ってくださるその輝かしい日まで、良き管理者であり大使でありますように。ですから主よ、聞く心を持つすべての人を祝福し、あなたの御言葉を聞き、心に留め、守ろうとするすべての人が救われるよう、へりくだりと共に頑なな心を開いてくださいますように。イエス・キリストの力強い御名において祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7